

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

らっこ0歳児クラス便り

2023. 5. 16（火） 文責：南 陽子

4月の連休が終わり5月に入るとすぐに連休になりました。お出かけした事、ちょっと体調がすぐれなかったこと帳面等で教えて頂き有難うございます。私たちも毎日、連絡帳を拝見し子ども達の様子や出来事を楽しみにしています。お忙しい中でも帳面の記入にありがたく感じます。新年度が始まり1ヶ月が経ちました。子ども達も随分と園生活に慣れました。その中で食欲旺盛な事がほぼ書かれており嬉しく思います。生理的欲求の1つが満たされているのだなと思えました。

なぜ？布パンツが良いのか？

～本園が大切にしている事～

さて、今回は園で大切にしている布パンツ使用の事を説明したいと思います。【パンツを持たせてください】とお願いするのですがどのようなメリットがあるのか日頃の保育の中で再認識しながら振り返ってみました。

①紙パンツの消費量が少ないので、節約できる 紙オムツが外れるのが早めに感じる。

・保護者の方から、園に預けるとオムツを買う回数が減った気がする話を聞きます。（実際 私もでした）

②その都度洗うので清潔

・排泄・排便後は、その都度股をお湯で洗い乾いたタオルで拭き取ります。紙オムツだと1回のおしっこで気づかない事もあるので、オムツかぶれも少なくなります。

③会話力、対話力が身に着く

・排泄後「オシッコでたね。シャワーで清潔にしようね」と声を掛けて洗います。きれいになることが理解できるようになると、シャワーを喜んでしてくれます。また、ことばが始めると「(で) た!」と教えてくれるようになります。

※紙パンツ使用でも会話力は身に付きますが、回数は増えるのかな？と感じます。

④不快感がわかるようになる

・排泄や排便後、泣いたり、股を触って見たり自分の股の部分を見たりとゼスチャーでも知らせてくれるようになります。

⑥排泄回数の確認が出来る。

・これから暑くなると水分補給と共に排泄の回数も蓄積してきます。体内で水分を循環することで、老廃物を出し病気になりにくい体づくりに繋がります。また排泄の色や量、臭いで病気のサインにもすぐに気づくことが出来ます。

⑤スキンシップで人とのぬくもりを感じられる。

・触れることの安心感が得られます。人としての根原が育ち、今後成長して行く中で大事な部分でもあります。

・もちろん、メリットもありますがデメリットもあります。

洗濯物が多くなる

・1日5枚ほどのパンツとズボン……。上着も着替えればこれから梅雨時期になると乾きにくいこともあるので、ご了承ください……。

園では、ずり這いや這い這いを盛んに見せている子ども達です。気づいたらつかまり立ちやおもちゃを引っ張り、力もついてきました。行動範囲も活発になってきたので身に着けている洋服等も身軽にして、運動機能も育てていきたいと思えます。

※ パンツについてですが、トレーニングパンツのような分厚いパンツではなく、普通の薄手のパンツの方が動きやすく、排泄に気づきやすいです。さらにトレーニングパンツよりも安いです。準備ができ次第でよろしいので持たせてください。また、上下別の洋服、肌着の準備もお願いします。

♪今月の子ども達の様子です♪



みんなで集まって遊ぶようになりました



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵 解決 責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田瑞穂(099-482-2927) 横峰 友里子(099-474-1506) 山口 和美(090-5473-5866)